



立志の丘

第30号
R5.11.16
西目中学校
文責：菊地

立志の学校としての誇りを胸に



10日(金)に、西目総合支所長 今***様をはじめ、多数のご来賓をお招きして「第58回少年式」が開催されました。

少年式は、昔の元服にあたる14歳の時に、将来の夢や目標について深く考え、自分を見つめ直すことを目指して、昭和41年に第7代の菊***校長先生が始められました。この式は、本校にとって、入学式、卒業式と並ぶ、重要な儀式的行事と位置づけられており、今年度で58回目を迎えました。第1回目に中学2年生だった方々は、現在71歳になっていることとなります。歴史の重みと同時に、立志の学校として本校の果たしてきた役割の大きさが感じられます。

式では、ご来賓を代表して、西目総合支所長 今***様より、「やらない後悔よりやる後悔。失敗したとしても行動してする後悔の方が圧倒的に自分を成長させてくれる。将来の夢や目標に向かって自分を信じ、恐れずにチャレンジしてください。」という激励のご祝辞をいただきました。

また、2年生を代表して後期生徒会会長の伊***さんが「立志のことば」を述べ、その後、2年生一人一人が、自分の思いを込めた漢字一文字を書いた色紙を掲げながら「私はこんな人になりたい」という誓いの言葉を力強く宣言しました。

2年生は、後期から学校の中心となって頑張っていますが、この少年式を機に、これからも「一

人一人がリーダー」という気持ちで学校全体を引っ張ってくれることを期待しています。

式典後に行われた記念講演には、ブラウブリッツ秋田クラブコミュニケーターの前***氏をお迎えしてご講演いただきました。

また、記念講演は、司会進行、準備・片付け等、PTA進路指導部の皆様が運営して下さいました。お忙しい中、ありがとうございました。

立志のことば(一部紹介)

生徒代表 伊*****



本日はお忙しい中、私たちの少年式にたくさんの方々からご出席いただき、誠にありがとうございます。

私たちはこの少年式で、将来なりたい自分や、目指したいこと、励みたいことなどを宣誓します。それは、これからの私たちの決意を述べたものです。そして、この決意を今後の学校生活で胸に刻み、さらなる高みを目指していきたいと思います。

立志三訓である「希望」「友情」「鍛練」をより意識し、立志の学校である西目中学校にふさわしい中学校生活を送りたいと思います。

さて、皆さんは、仙台育英学園高等学校の硬式野球部監督、須***先生を知っていますか。須江先生は、数々の名言を残しており、昨年の夏の全国高等学校野球選手権大会の優勝直後のインタビューで「青春は密」などの名言を残されました。私は、その名言の中でも特に、「人生は敗者復活戦」という言葉が印象に残っています。

自分たちは、これまでの学校生活で様々なことに取り組み、挑んできました。その中でも体育祭

や合唱コンクールでは、あと一步のところまで勝つことができず、悔しい思いをしたことを今でも鮮明に覚えています。ですが、ただ悔しい思いをしただけでなく、自分たちに欠けていたものは何かという課題と共に、先輩方の姿から一つ一つの物事に対する姿勢、立志三訓に基づいた意志の強さを学ぶことができました。「人生は敗者復活戦」という言葉を、これからの学校生活や私たちの背中を押してくれる大切なものとし、これまでの経験を糧に、「負けてから始まる」この先に待ち受ける高みへ挑んでいきたいと思えます。

これから私たちは、一人一人違う道を歩んでいくと思えます。その中でも「友情」を深めながら、共に「鍛錬」していきます。自分の誓った志を高く掲げ、未来に向かって粘り強く歩み続けることを誓い、立志の言葉とします。

私たちを支えてくださった地域の方々、保護者のみなさま、先生方、これまでほんとうにありがとうございました。これからも温かい応援をよろしくお願いします。

記念講演

「すべては自分次第」

前**** 氏

記念講演は、ブラウブリッツ秋田で2度のJ3優勝に貢献し、現在は、クラブコミュニケーターを務める前****さんに「すべては自分次第」という演題でご講演いただきました。



前山さんの経験を通して、これからの生き方について、次のような大事なことを教えていただきました。

前山さんの経験を通して、これからの生き方について、次のような大事なことを教えていただきました。

- いろいろなことを経験する、いろいろなことに挑戦することが大切。
- 時には苦手なこともやってみることで、得ることがある。きらい、苦手と思う人との付き合いも大切にしてほしい。
- 大人になってあらためて勉強の大切さを感じる。勉強ができれば人生の幅が広がる、やれることが広がる。

○夢を叶えるためには努力は必要。たとえ成功しなくても、努力したという経験が残る。一生懸命それに向けてやった経験がある人は、それが新しいことに挑戦する時につながる。

○自分自身のリーダーは自分。自分の行動や思考、環境、自分など、コントロールできるものを変えていってほしい。自分は自分次第で変わる。

前*さんの言葉の一つ一つが心に残る講演で、全校生徒が真剣にうなずきながら話を聞いている姿が印象的でした。

講演後には、2B佐****さん、1B釜****さん、2A伊****さん、3A柳****さんから質問や感想があり、前*さんから丁寧にアドバイスをいただきました。前*さん、ありがとうございました。



西中生の活躍

★第6回由利本荘市 11月4日

図書館を使った調べる学習コンクール

【佐藤憲一顕彰会賞】

「男鹿のウミウシ事情」 平**** (1B)

【優良賞】

「本荘のお殿様 六郷氏を探る！」

小**** (3A)

「万博の影響」

佐**** (3B)